

道徳教育地域支援委託事業実施計画書（令和4年度）

1 学校の概要

- (1) 学校名 善通寺市立西中学校
(2) 所在地 香川県善通寺市文京町四丁目1番1号
(3) 学年別児童生徒数及び学級数、教員数 (令和4年4月1日現在)

| 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 | 特別支援学級 | 児童生徒数計 | 教員 |
|------|------|------|--------|--------|-----|
| 3学級 | 3学級 | 3学級 | 3学級 | 301名 | 27名 |
| 102名 | 95名 | 93名 | 11名 | | |

2 研究主題等

- (1) 研究主題 互いに支え合い 高め合い 生き方についての考えを深める道徳教育
～道徳的諸価値について「考え、議論する」授業づくりと振り返り～

(2) 研究主題設定の理由

本校では、学校教育目標「互いに支え合い 高め合いながら課題の解決に努める生徒の育成」の下、日々の学校生活や学校行事を通して互いを認め合う仲間づくりに取り組んでいる。平成30年度から令和元年度及び令和3年度、本事業の指定を受け、継続して道徳教育の推進を行ってきた。その結果、令和3年度の3年生の1年次及び2年次の県学習状況調査、全国学力調査の生徒質問紙調査の結果からみた経年比較において、課題であった自己肯定感に関わる質問項目で、肯定的意見を持つ生徒の割合が大幅に増加した。しかし、「人が困っているときは進んで助けていますか」という道徳の実践的態度に関する項目や「将来の夢や目標をもっていますか」という項目では、肯定的な意見を持つ生徒の割合が大幅に減少した。道徳の授業改善や朝道徳の活性化により、道徳的判断力や自己の良さに気付く心の醸成は成果がみられるが、道徳的行動を実践できるまでの自信は育っていない実態がある。そこで、道徳科の授業を要として教育活動全体を通じた道徳教育の更なる推進により研究を一層深め、道徳的価値の理解の基に自己を見つめ、互いの考えを交流し合うことにより、自分の意見に自信を持たせることを通して、道徳的行動の実践、更には本校の教育目標の達成につなげたい。

(3) 研究内容及び方法

① 道徳教育の充実を促す指導体制

- ア 3プロジェクト（教材・連携・環境）による指導体制の充実（全教師で取り組む姿勢）
- イ 教科を横断する全体計画、年間計画、別葉の作成・実行
- ウ 道徳教育に関する校内研修・指導案検討会の実施（授業力向上）

② 道徳的諸価値について多面的・多角的に考えさせる授業づくり

- ア 教材への自我関与の意識を高める問題解決的な学習（道徳的価値の理解を深める指導方法の改善）
- イ 中心発問の改善（時間・対象・条件・本質軸を変えた発問と問い返し）
- ウ 振り返りの充実（内省的思考へと導く3観点の提示、共有できる場の設定）

③ 家庭・地域との連携・協力

- ア 道徳通信の発行（家庭や地域への情報発信：月1回程度）
- イ 地域とつながる道徳（地域とつながる新しいボランティアの確立・保護者参加型の授業の実施）

④ 道徳に関する支持的風土づくり

- ア 生徒の実態に合った朝道徳の充実と共有環境の整備
- イ 道徳的価値を深める掲示の作成

3 成果の評価方法（検証方法）

- ① 外部指導者や学校評議委員による指導・助言（指導体制及び授業改善の変容等）
- ② 教師の自己・相互評価及び、生徒のワークシートや振り返りシートへの記述等の分析
- ③ 道徳教育推進教師および3プロジェクト所属教師による校内研修での取組の重点化及び焦点化
- ④ 全国学力・学習状況調査や県学習状況調査、本校独自の生徒アンケート結果の分析

4 研究成果の普及方法

- ① 道徳的な実践に関する情報を「道徳通信」にまとめ、定期的に生徒、保護者、地域に発信する。
- ② 「香川の教育づくり発表会」・令和4年度の「香中研道徳部会研究大会」で授業公開、取組の発表を行う。